

令和 7 年 2 月 10 日

浜田市議会議長 様

議員名 村武 まゆみ

研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので報告します。

記

1. 研修名 シリーズ『はじめての 100 ヶ月の育ちビジョン』をどう読み解くか 第 1 回 ビジョンに書かれている社会的なまなざしとは
(オンライン参加)

2. 受講の目的

全てのこどもの「はじめての 100 ヶ月」を社会全体で大切にするために策定された「はじめての 100 ヶ月の育ちのビジョン」を理解し、乳幼児期のこどもの育ちに係る基本的なビジョンを市政に反映するため。

3. 期間 (移動日を含む)

令和 7 年 1 月 29 日 (水) 18:00～19:30

4. 経費 3,000 円

(経費内訳 受講料 3,000 円 、旅費 円)

5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

『はじめての 100 か月』は生涯の幸せを育てると、こども家庭庁において乳幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョンとして打ち出している。こどもが安心安全を感じながら育つ環境を大人が整えていく必要がある。乳幼児期の遊びがその後のこどもの成長に大きく関係する。「はじめての 100 ヶ月の育ちのビジョン」について保育に関わる関係者、保護者などが理解をすることが必要である。

6. 研修内容

(詳細は別紙のとおり)



【研修内容】

オンラインで配信。

- 主催者：一般社団法人 TOKYO PLAY
 - 登壇者
 - ・岩崎 貴行 氏(こども家庭庁 成育基盤企画課主査)
 - ・大豆生田 啓友 氏(玉川大学教育学部 教授)
 - ・山口 有紗 氏(小児科医/児童精神科医)
 - ・嶋村 仁志 氏(一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事)
 - ファシリテーター
 - ・土肥 潤也 氏
- (NPO 法人わかもののまち代表理事/株式会社 C&Y パートナース代表取締役)

● 内容

人が成長する中でこども時代が原点であり、脳が発達する時期にしっかり遊ばないと心が死んでいく。放課後の時間が重要。こどもの頃はやりたいことをやりたいようにすることができる環境が必要。遊ぶことの効果としては、楽しいともっと遊びたくなる。→自分で自分を育てていくことができる。

アタッチメントについては母子だけでなく、周りの大人でも育むことができる。周りの大人との応答的な関係が大切。様々な人との関わりが子供にとって必要。

こどもにとってのウエルビーイングはまず保護者のウエルビーイングが必要。単なる保護者へのサービスだけでなく、こどもと共に育つ。

こどもと一緒に遊ぶ。大人が子どもになる体験が必要。

何をして遊ばせようではなく、こどもは勝手に遊ぶ。

遊びが学びにつながる。(変わる) 本人がやりたいようにやるのが遊びである。

大人の安心感があると子どもが育つ。

【所感】

こどもの 100 か月ビジョンについて必要性、この時期の大切さを理解することができた。

浜田市の乳幼児期の育ちについても担当課にもしっかり考えてもらい、自分の力を最大限に伸ばすことができるこどもの育ちの施策を進めていきたい。

